

みうらトーク&トーク 第1弾

日 時 平成20年6月27日（金）
15時00分から16時15分

場 所 南下浦市民センター講義室

参 加 者 市民 12名
市側 6名

テ ー マ 「市の広報について」



内 容

概要を説明（市民協働部）

広報紙「三浦市民」は、昭和30年の市制施行と同時に第1号が発刊され、毎月1日に発行し、今年の7月1日で632号となります。

掲載内容は、市役所からのお知らせを主軸にしているわけですが、中ほどのページにはお知らせ版ということで、県の機関や市内のサークル等の紹介を「みんなのひろば」という欄を設けて掲載しています。また、昨年の8月号から「市民特派員」という形で公募を行い、市民特派員の記事を掲載しています。平成16年からは広告の掲載を行っています。

そのほか視覚障害者対策として、三浦市手話サークルには点字版を、ひばりの会にはカセットテープによる音訳を作成していただき、希望者への配布及び貸し出しを行っています。

次に、ホームページですが、三浦市では平成13年にホームページを開設し、平成16年3月、平成20年3月の2回の改定を経て、現在に至っており、1日当たりの利用者は約2,000人となっています。

ホームページの構成は見やすく、情報を探しやすくということを基本に作っております。具体的には「総合案内」、「市民向け」、「事業者向け」、「観光案内」の4つのカテゴリで構成しており、それぞれの目的ごとに情報を探せるようになっております。文字の大きさ、色については変えることができ、これにより視覚障害をもつ方にも見やすい画面となるようにしています。また、このホームページへは携帯電話からもアクセスできるようになっています。

ホームページの内容ですが、各担当が作ったデータを基に、1日4回、内容の更新を行って

います。そのほか、緊急時は随時、ホームページの担当課である統計情報課でデータの更新を行っております。

意見交換

（市 長）

ホームページを今年の3月にリニューアルしました。準備期間に1年ぐらいかけて、いろいろな視点から——使いやすく、見やすくという視点から検討しました。リニューアルして良くなったというご意見が大多数ですが、ホームページ上の写真がいつも同じなど、いろいろな意見がホームページ上の「インターネット目安箱」に寄せられています。ここには様々な投書があり、投書された方とのやり取りに時間がかかったり、あまりに一方的なご意見が多かったりするものですから、お問い合わせの画面とご意見の画面を分けることを準備しています。

内容についても、市役所内部において載せたい情報はたくさんありますが、各課で載せるべき情報を分けて、これを統計情報課でまとめています。

市の広報手段として、どこの市町村でもインターネットは中心になっていますが、パソコンを使わない方はたくさんいられるし、広報紙とか他の媒体でお知らせすることは大きなテーマです。情報が氾濫しすぎて、どれが必要な情報かわからないということもありますし、市民生活をしていく上で疑問に思ったことを、市役所のどこに聞いたらいいかということコンパクトにまとめたかどうかということで、今、「市民便利帳」というのを市民協働部で各市の状況を参考にしながら、作成準備をしています。これと「三浦市民」とホームページの3本立てを考えています。

市民の皆さんに市役所が情報を発信する、あるいは受けるということの重要性を認識しないと——情報戦略を組み立てないといけないということで、市民協働部が中心になり作業を進めています。

「三浦市民」も一時紙面が白黒でしたが、表紙をカラーにしたり、見やすさを考えて横書きに変更しています。ただ、現状でいいとは思っていないので、皆さんのご意見をいただいて、直せるものは直していきたいと思っています。

（市 民）

三浦市は高齢者の割合が高く、パソコンを使えない人が多いと思います。そうすると情報は「三浦市民」から得ることになります。他市の広報紙を見ると、保存版として市役所の各課一覧表があります。機構改革を行った場合は、変更前と後の各課の対応表と業務内容を「三浦市

民」に載せてほしい。用事があって、市役所を訪れても担当が違うと言われ、タライ回しになったことがあった。

（市 民）

私も、新しい機構の説明が載っている4月号を見ましたが、新しい課の名称の脇に内線番号を入れてほしかったです。

（市 長）

市民課のお客センターで庁内の総合案内ができる仕組みになっていますが、このことを知らない方もいられます。電話でもそうですが、タライ回しにならないように十分注意していきます。

（市 民）

三浦市に3年位前に引っ越してきました。市内に知り合いがいたわけではなく、ここに住みたいと思って引っ越してきました。自分で住んでみて、「これはちょっと」と思うことがたくさん感じられます。最初に市役所に住民登録に行ったときに、資料をいろいろいただいたがバラバラで……。以前住んでいた所では、「市民の手引き」というようなものが配布されていて、わからないことがあれば、そこに書いてあるわけです。こういうようなものを作っていただきたいと目安箱に投書しましたが、先ほどのお話で作っていただけるとのことですから、市に関するいろいろなことを網羅していただけたらと思います。そして、少なくとも5年に1回くらい更新するべきではないかと思います。その間に修正が必要な個所は「三浦市民」に載せるなどの対応をすればいいと思います。

（市 長）

今、準備している「市民便利帳」は目安箱の意見が参考になったものです。これは必要だということに取り組んでいるもので、現在、準備しているところです。

（市 民）

今の時代はインターネットで調べるのが手っ取り早いですから、そういう意味ではホームページを充実させてほしいです。今回、改訂して最初のページの印象は良くなりましたが、使い勝手というとまだまだ不満はたくさんあります。私は三浦市の出身ではありませんが、今は三浦市に住んでいますので、三浦市を知り合いに自慢できる町にしたいと思っています。そういう意味で三浦市のホームページを他の市町村と比較すると、市外の人に本当にシティ・セールスをするつもりがあるのかと思います。アピールの精神が欠けているのではないかと。市役所

内の各部署から代表が出て、プロジェクトチームなりを作って、問題点を洗い出し、改善していく努力を早急に行っていくべきだと思います。市の歩みは遅すぎます。

(市 長)

ホームページは市内の方より、市外の方が見るケースが圧倒的に多い。そういった視点で、広報戦略という言葉は最近使っていますけれど、今、言われたのは、庁内でプロジェクトを作って、意見を出し合うべきでないかということですね。

(市 民)

インターネットが使えない人のために、「三浦市民」にホームページの利用方法や「インターネット目安箱」の内容を掲載したり、活字を大きくするなど見やすい紙面を作る努力をして、市民の関心を引くようにするべきでないでしょうか。

(市 長)

現在の紙面にするときに――新聞型にすると包み紙になってしまうのではないかとか、「県のため」と違いを持たせたほうがいいのかと議論を行いました。

(市 民)

「三浦市民」には、毎月、ペットボトル、埋立てごみ、枝木の回収日などが載っていますが、これを載せるより、以前、各家庭に配布した分別収集の一覧表を「三浦市民」の中に、年1回でいいから載せてほしい。そうすればこのページを抜いて、冷蔵庫などに貼っておけるので、市民は便利に使えます。そうすれば、市民にも「三浦市民」が生活に密着したものと考えてもらえるのではないのでしょうか。

市のホームページに関して言うと、最初のページの写真がなぜ、「大島」なのかなど。例えば、大根をもっとPRしてもいいのではないかと思います。

(市 長)

私も四季に応じて、写真を変えてもいいのではないかと考えています。

ごみの分別収集の表に関しては、先ほどお話ししました「市民便利帳」と一緒に全世帯に配布することを考えています。

(市 民)

三浦の歴史は古くからあるのに、ホームページを検索していても情報が出てきません。例えば、盗人狩や番場坂など歴史に由来する地名がありますが、ホームページからこのようなことが検索できれば、市外の人たちに三浦市について興味をもってもらえると思います。

(市 民)

ホームページには三浦の歴史が載っているが内容が浅い。他市と比べても貧弱です。ホームページは三浦の子供たちが見るわけですから、三浦の歴史が概要でもいいからわかるようにするべきです。

また、「かながわ名産100選」には三浦のものが多く選ばれているが、このPRもうまく行われていません。お店の紹介などがないと観光客にも不親切だと思います。

観光についていえば、三浦市のレジャーをイメージするものとして、ヨットやカヌーへの乗船を紹介してくれるのかと思っていたのに、そうでなかったりとか……。

(市 民)

例えば、「三浦ブランド」は商工会議所が行っているので、商工会議所との提携などを進めていけば、皆さんの要望にも応えられるのではないですかね。

(市 民)

ほかのホームページと三浦市のホームページがつながっていれば検索できる範囲が広がります。そういう点では遅れていると思います。三浦市は観光を目指すべきだから、観光の観点から、利用者に必要な情報が提供できるようにしていくべきです。そうでなければ市外の人にアピールすることになりません。

観光についていうと、市のホームページにつながっているのは市外も含んだ観光情報であり、市内観光の紹介になっていません。例えば、釣り船や民宿などの組織をつくって、その一覧表などを載せてはどうか。

(市 長)

今のお話を参考にさせていただくと、三浦市、観光協会、京浜急行電鉄が一緒になって、今年から、「観光情報ネットワーク」というものを集客手段として立ち上げています。

ホームページについては、お話のありました歴史、観光を含めてすべて見直しをしなければいけないと考えています。また、市のホームページに民間企業を載せることはできませんから、観光協会などのホームページにリンクできるようにすることは必要ですね。

(市 民)

以前から、「三浦市民」に医師・看護師募集の記事が載っていますが、医師不足が言われている中で、この記事によって応募してきた医師はいるのでしょうか。

(市 長)

「三浦市民」に医師募集の記事を毎月載せているが、載せたことによる効果というのは期待できないです。しかし、市民の皆さんに市立病院が医師を募集しているという事実を知っていただくために毎月載せています。「三浦市民」を市の広報手段として、市立病院が医師不足で困っているということを知っていただくために載せています。

(市 民)

市役所の機構を最近、度々変えているが、だんだんわかりにくくなっている。昔はわかりやすい名前だったが……。

(市 長)

行革などを進めており、それにあった形の名称にしたりということはあるかもしれませんが、なるべく名称などはいじらないようにしているんですが……。

(市 民)

組織は時代によって変えていかなければならないのだろうが、私用で市からいくつか資料をいただいたが、課の名称が変更前と変更後のものが混在していて整合性がとれていません。ホームページもそうです。

課の新しい名称は時代にマッチしたものでいいと思うが、内容が名称に即したものになっていないと思います。もっと内容を磨き上げてほしい。

(市 民)

市の財政状態も厳しくなっていく中で、市民の力をかりて市民協働を進めていくためには、情報を開示しなければならないと思う。市はもっと情報を発信してほしい。そうすれば、市民は自分が興味のあるところに参加しようとなります。もっと市民を巻き込むようにすればいい。

(市 民)

以前、このトーク＆トークで行われた地球温暖化にも関係するのですが、環境部門で、三浦市にはどのような団体があって、どのようなことをしているかを一覧で出していただいて、参加を募っていただきたい。

(市 長)

今日は大変参考になるご意見を多数いただきました。担当も広報戦略ということで、市民協働部になって市民協働部長が統括しておりますので、ホームページの内容などに市民の皆さんに参加いただいてチェックをする仕組みを作っていきたいと思っております。今後の我々の動きを皆さんも見てくださいと思います。

(市職員)

本日は、長時間ありがとうございました。

これでトーク&トークを終了します。

※ 公表については、了解を得ております。